

第3期地域福祉計画素案策定について

令和7年4月4日作成

健康福祉政策課

1. 素案策定までの経過

令和6年12月に、別紙「習志野市地域福祉計画策定基本方針」を策定し、市役所内で会議等を開催し現行計画の成果や課題、新規事業を整理し、計画の目標や施策の修正を行いました。

また、第3期計画から新たに設ける別章として、以下の計画について各担当者と個別に協議し、令和7年3月31日に第3期地域福祉計画素案を策定しました。

- ・成年後見制度利用促進計画（高齢者支援課）
- ・再犯防止計画（健康福祉政策課）

2. 素案作成に当たっての留意点

（1）主な第2期計画の成果と課題

- ・ひきこもり支援ステーション事業（障がい福祉課）
啓発活動（チラシ配布など）により相談件数が増加しましたが、対応する人的資源が不足しているため、人員確保が必要です。
- ・生活困窮者などの複合的課題への対応
（生活相談課・子育て支援課・健康支援課・高齢者支援課）
相談件数は増加していますが、ケースの複雑化が進んでいるため、よりスムーズな相談体制の構築が求められます。
- ・介護予防把握事業（健康支援課）
介護予防教室を開催し、介護予防を推進しています。訪問や電話による参加者増加を試みましたが、伸び悩みが課題です。
- ・障がい者地域共生協議会就労支援部会（障がい福祉課）
商工会議所との連携や広報誌による案内の結果、市内の障がい者雇用率は向上しました。しかし、県内平均と比較すると低いため、引き続き啓発を行う必要があります。

（2）基本施策の追加

以下の基本施策を新たに追加しました。

基本目標2、基本施策5：「必要な人へ届ける支援の充実」

基本目標3、基本施策4：「複雑化・複合化する課題への支援体制の充実」

これらの施策は、令和3年の社会福祉法改正により策定が努力義務化された重層的支援体制整備事業に基づき、地域共生社会の実現に向けて実施すべき事項として追加しました。

（３）進捗管理

第2期計画では、PDCAサイクルによる進捗管理を明記しましたが、事業担当課の記載がなく、管理が機能しませんでした。

第3期計画では、事業担当課を明確化し、進捗状況の把握と管理を強化します。

３． 最終案策定までの流れ

令和7年度は、以下の手順で最終案を策定します。

- （１）計画策定支援業務委託（コンサルタント）
- （２）地域会議の開催
- （３）福祉問題審議会（諮問・答申）
- （４）市役所内意見照会・パブリックコメントの実施
- （５）意見を反映した修正
- （６）策定

<第3期計画新規掲載事業>

№.	事業名等	担当課
1	こども家庭センター	こども家庭課
2	放課後子供教室	社会教育課
3	補聴器の購入助成事業	高齢者支援課
4	性の多様性に関する理解促進	多様性社会推進課
5	DVに関する啓発と相談窓口の周知及び支援	多様性社会推進課
6	多機関協働事業	健康福祉政策課
7	アウトリーチ等を通じた継続的支援事業	健康福祉政策課
8	療育と家庭支援、相談支援	あじさい療育支援センター

※なお、第2期に掲載した事業のうち、第3期までの間に廃止された事業はございません。